

発 行
令和5年
2月9日
第87号



発 行 者
長野県下伊那農業高等学校
同 窓 会
TEL (22)5550
FAX (53)0339
編集・発行
同 窓 会 幹 事 会
印刷 龍共印刷株式会社

不易流行

同窓会長



新年おめでとうございます。同窓会員の皆様におかれましてはご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が報告されてから三年目に入つた令和四年度も、当会の運営にも例外なく影響を受ける一年間となりました。

五月二十一日の理事代議員会については感染拡大防止の観点から、顧問、正副会長、監事、校内幹事のみで開催し、例年出席しておりました役員以外の理事、代議員の皆様には事前に資料を送付させていただくという変則的な形での実施となりました。また、学校行事等も卒業式、入学式は学校関係者と保護者の一部のみとなり、また、従来一般公開されていた文化祭もここ三年間は生徒のみでの開催と同窓生に見ていただく機会がなくなり残念な結果となつてしまいました。

その中ですが、在校生の農業クラブをはじめ、運動部、文化部の県大会や全国大会での活躍ぶりを新聞報道などで知ることも多くあり大変心強かつたうれしく思います。

森山 和幸 (高18回卒)

同窓会活動にかかる課題について整理してみますと、一番は会の活動の活性化です。具体的には会を構成する支会の活動の活性化が重要です。支会役員の皆様からは活動をする上での支会内の会員名簿(会員情報)の提供が求められておりますが、近年は、個人情報保護法等の関係から会員名簿を整理、管理していくことが大変困難な状況となつております。事務局としては卒業時点での新会員情報は把握できるものの、その後の会員の住所・氏名等の移動情報の管理は大変難しくなつております。地域内の他高校の同窓会の管理方法等の情報交換も行い整備に努めてまいりますので会員のみなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。

また、生徒会の部活、合宿や同窓会の会議などに長年活用されてきたものの、施設の経年劣化が進んでいる稲丘会館(同窓会館)や、阿智村にあります同窓会林の維持管理、他にも長期的には、近年の農業環境の大きな変化に伴い時代のニーズに合わせた学校の教育課程の変更、少子化による生徒数の減少に伴う同窓会員の減少など多くの課題があります。

の減少など多くの課題があります。

長期間にわたるコロナ禍により、これまで当然のように行われてきた行事や活動が制限され、伝統が維持されなくなつてしまうこと大変残念なことであり守るべきものは大切に守っていくことが必要です。

会員の皆さんが会に対して何を求めているのか、ま



同窓会の皆様には、日ごろ

令和の時代の下農教育に思いを寄せて

学校長

田畑 邦仁 (高34回卒)

より母校の教育活動に對しまして、物心両面にわたる格段のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年度も新型コロナウイルス感染症の流行が衰える兆しは見えず、感染対策を意識しながらの教育活動が続きました。社会経済活動を動かしながら、ウィズコロナに世の中がシフトしていく中で、学校生活や学習活動も徐々に活動の幅を広げつつあります。各種大会や発表会・コンクールなど、感染対策を徹底したうえで開催され、本校の生徒たちの活躍が見られました(詳細は後の紙面で紹介)。学校行事では、十月初旬の二年生の見学旅行を予定の行程で実施した他、十一月十八日には三年

た会の在り方は今後どうあるべきか。守るべきものは守り変革もしていく、「不易流行」。一万九千人余の卒業生を有する母校百年の伝統を守り、新しい風を入れないが、リニア新時代にあふさわしい、身近な同窓会を模索してまいりますので会員の皆様の引き続きのご支援ご理解をお願いいたします。

さて、学校では新たな教育課程が始まりました。これまでアグリサービス科と園芸クリエイト科においてコース制を導入していましたが、今年度入学生より、すべての学科でコース制を導入しました。アグリサービス科は「地域探究コース」・「食農文化コース」、農業機械科は「自動車整備コース」・「生産技術コース」、園芸クリエイト科は「施設園芸コース」・「果樹園芸コース」、食品化学科は「食品開発コース」・「食品分析コース」とそれぞれの学科が二つのコースを設置しています。作物・家畜の栽培・飼育、農畜産物の加工・利用・流通、自動車や機械の整備・運転等に関

する専門性の基礎・基本の習得ならびに社会人としての職業観・勤労観の醸成を図るとともに、産業構造の変化や多様化する生徒の興味関心、進路希望にこたえていく学びの仕組みを整えました。加えて、昨今の技術革新や科学技術の進展とデジタル化社会の到来を見据え、昨年度に整備された「デジタル化対応産業教育装置(水耕栽培システム、バツク栽培システム、溶液土耕システム、カーボンニュートラル型植物工場)」や「スマート農業」の学習や電気自動車・水素自動車等のSDGsの実現を踏まえた学習を取り入れるなど、不易流行の中で変化に翻弄されず、しかし、変化に取り残されず、本校の百年の重みを噛みしめながら、未知の可能性を秘める生徒一人ひとりの成長のために、そして、地域の振興のために、本校の充実発展を図りたいと思います。

全国的に教員の確保が困難を増す中、農業教育に情熱を抱く本校の卒業生一名(大学四年生)が令和五年度公立学校教員採用選考に合格し、四月一日より教壇に立ちます。今後とも、母校のために変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

稲穂会マレットゴルフ大会

稲穂会会長 座光寺 真理 (高22回卒)



第十六回マレットゴルフ大会が、六月二十五日豊丘村アカシアマレットゴルフ場を会場に、四十一人の参加をいただき開催されました。計画当初からコロナの感染状況を確認しながら、また、梅雨時の天候不順を気にしながら当日を迎えました。朝から青空が広がり絶好の競技日和となりました。開会式では、同窓会森山会長のご挨拶をいただき、昨年優勝者よりトロフィーの返還、競技説明と熱中症予防の水分補給などをお願いし、感染予防にマスク着用でのコース周りとなりました。蒸し暑い中でしたが、木陰からの風も心地よく心身ともに癒された楽しい二時間となりました。



閉会式の成績発表では、昨年優勝の原信子(高二十三回)さんが優勝しトロフィーが授与されました。成績により景品、参加者全員に参加賞が渡されましたが、在校生のアイデアあふれる加工食品をいただき感激しました。コロナ禍でもあり親睦会ができずお弁当持ち帰りとなりましたが、この状況下で開催できたことを感謝し、コロナ終息を願ひ散会しました。

今後の事業は、二月二十六日(日)総会・行事を予定しています。会員の皆さんにご意見をいただき有意義な会にしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

大会成績

優勝	準優勝	三位	四位	五位
原 信子 様 (高二十三回卒)	小林 ヒロ子 様 (高十五回卒)	宮沢 富士子 様 (高二十回卒)	勝野 芳美 様 (高十四回卒)	井坪 君子 様 (高二十五回卒)

第三十回 同窓会親善ゴルフ大会

実行委員長 篠田 篤 (高25回卒)



第三十回大会を昨年九月二十九日にコロナ禍ではありますが実施する事が出来ました。参加者の皆様のおかげだと思っております。この大会を行う事となった経過をお話したいと思ひます。平成元年に現在の前身である、下農OBコンベとして開催され平成三年まで毎回四十名余りの参加者で開催しておりました。平成四年第一回大会実行委員長(幹事長) 竹下肇氏、(高八回卒) 事務局長林二郎氏(高十三回卒)の下、六十名余りで開催されました。



その後、平成五年より百七十四名、平成六年二百二十六名の参加を頂き、その後も二百名を超える大会に成長しました。これも一重に大会に尽力頂いた役員の皆

様と五十名余りの支会幹事の皆様と大会の趣旨をご理解のもと下農同窓会親善ゴルフ大会として協力頂いた学校にも感謝申し上げます。大会長が同窓会長になつて頂き参加者全員からチャリティー金を頂き、在校生に役立て頂けるよう校長先生へ寄贈してまいりました。

これからは三十年続いてきた大会を若い人たちにも参加して頂き今後十年二十年と続けられますよう皆さんに声掛けし、誘い合わせてまいりたいと思ひます。今後コロナ禍の開催となると思ひますが、感染防止をしながら大会にご理解頂き、長く大会を続けられますようご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大会成績

優勝	二位	三位	四位	五位
瀬川 和博 様 (高三十九回卒)	佐々木 雄亮 様 (高七十一回卒)	福澤 省三 様 (高二十一回卒)	竹村 清海 様 (高二十五回卒)	池野 克浩 様 (高三十六回卒)

令和四年度の支会総会開催状況

今年度、三支会で支会総会が行われました。実施した支会におかれましては報告をお願いいたします。

川路支会 三月二十六日
神稲支会 七月 十六日
上郷支会 七月 十八日
一昨年、支会総会が開催されず、昨年度・今年度と少しづつではありますが、支会総会が開催されるようになつてきました。ただ、役員の改選のみでの集まりなど、本来の支会の取り組みにはまだ戻っていないようです。

特に、関東稲丘会(東京支会)より、「関東支会の名簿収集にご協力をお願いいたします」とのご連絡をいただきました。以前は、本会より東京支会

活動の復帰を願つて
神稲支会会長 宮下 登 (高18回卒)



昭和三十一年に神稲村と河野村が合併して豊丘村となりましたが、母校の下伊那農業高校の同窓会は、旧村単位のままそれぞれ活動しております。

私たちの神稲支会の地域は現在、東京から名古屋へと通ずるリニア中央新幹線の通過する村に当たり、トンネルの掘削工事や残土処分

理また、二か所に設置される大規模の変電所のために、優良農地をつぶして造成や百メートルを超える高さの鉄塔の乱立で大きく様変わりしておりますが、同窓生の多くの皆さんは、農業を中心にと今も頑張つて活躍されています。リニア開通後の農業経営にいかに取り組んでいくのが、課題となっております。ところで神稲支会の活動

状況ですが、新型コロナウイルスの影響により事業も計画通り進まずに苦慮してまいりました。

現在支会の会員数は約二百五十名います。卒業生が村外に出る傾向が続き減少してきている現状は、どの支会でも共通の悩みかと思われまふ。

昨年度実施した事業報告ですが、十五支部ある支部長の役員会を六月に開催して前年度の事業内容や、会計報告をすると共に新年度の事業等決めてまいりました。同月に本部の稲穂会女性部が開催したマレットゴルフ大会に豊丘村が会場になったこともあり四名が参加しました。七月は恒例行事として行ってきました同窓会のマレットゴルフ大会は、残念ながら雨天のため中止となりましたが、定期総会には多数の会員の皆さんが参加と、本校より地区担当の佐々木先生も出席されて、母校の状況報告をお聞きしての開催となりました。コロナ禍の影響はここにもあり三年続きで懇親会もできず残念でした。(写真は数年前のものですが懇親会でも必ず歌う旧校歌をたのしく合唱する会員の様子です。今年は是非この光景に戻れることを願ってやみません。)九月には母校主催の第三十回を迎えた親善ゴルフ大会に十五名が参加しました。十一月に豊丘祭りのイベントの花火大会に、神稲支会として協賛金を出して村内へ存在感をアピールしたところでありまふ。以上で神稲支会の活動報告とさせていただきますが、一日も早くコロナが終息して本来の活動が復帰できますようにと願うところです。



令和3年度 決 算 書

長野県下伊那農業高等学校同窓会
令和4年5月21日 提 案
令和4年5月21日 承 認

1 歳入総額	2,641,478円
2 歳出総額	1,432,867円
3 差引残額	1,208,611円

1 歳入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額			収入済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用	計			
入 会 金	1,296,000		1,296,000	1,176,000	-120,000	8,000×147名
雑 収 入	0		0	12	12	利息、長尺プリンター使用料、差戻し金
繰 越 金	717,914		717,914	1,175,466	457,552	
永 年 会 費	312,000		312,000	290,000	-22,000	2,000円×145名
そ の 他	0		0	0	0	
合 計	2,325,914		2,325,914	2,641,478	315,564	

2 歳出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額			支出済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用	計			
1, 事務費	420,000	0	420,000	74,753	345,247	
1) 旅費	120,000		120,000	12,660	107,340	支会総会等の旅費
2) 事務費	50,000		50,000	13,750	36,250	プリンターインク・ロール紙他事務費
3) 通信費	40,000		40,000	47,028	-7,028	郵送料・電話代
4) 消耗品費	50,000		50,000	1,315	48,685	印刷用紙他
5) 負担金	10,000		10,000	0	10,000	地区同窓会負担金
6) 交際費	150,000		150,000	0	150,000	各種会議参加費等
2, 会議費	240,000	0	240,000	442,972	-202,972	
1) 役員会費	60,000		60,000	63,000	-3,000	監査会等
2) 代議員会費	130,000		130,000	195,418	-65,418	代議員会
3) 幹事会費	50,000		50,000	184,554	-134,554	校内幹事会会議費
3, 事業費	1,460,000	7,500	1,467,500	784,592	682,908	
1) 稲穂会費	100,000		100,000	115,852	-15,852	活動費・総会費
2) 事業推進費	250,000		250,000	31,220	218,780	支会総会の参加
3) 稲丘時報発行費	500,000	0	500,000	250,800	249,200	稲丘時報発行費
4) 同窓会林管理費	10,000	7,500	17,500	20,000	-2,500	同窓会林間伐等管理
5) 新正会員歓迎費	150,000		150,000	150,000	0	校歌等CD購入用積立て
6) 稲丘会事業寄付金	200,000		200,000	200,000	0	(財) 稲丘会
7) 親善大会費	100,000		100,000	16,720	83,280	親善ゴルフ
8) 100周年費	150,000	0	150,000	0	150,000	100周年事業(稲丘時報)
4, 雑支出	170,000	15,000	185,000	83,930	101,070	
1) 慶弔費	70,000	0	70,000	27,930	42,070	祝儀・香典・弔電
2) 転退職職員記念品費	60,000	15,000	75,000	48,000	27,000	銭別
3) 雑費	40,000	0	40,000	8,000	32,000	1-2)長尺インク他、2-1)役員会
5, 予備費	35,914	△22,500	13,414	46,620	-33,206	1-2事務 通信費
1) 予備費	35,914	△22,500	13,414	46,620	-33,206	
合 計	2,325,914	0	2,325,914	1,432,867	893,047	

会 務 報 告

同窓会幹事長 松澤 公夫(高36回卒)



会員の皆様方には益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年度より、校内幹事長を担当させていただいている三十六回卒業の松澤と申

します。日頃より、会員の皆様方に同窓活動にご支援・ご協力を賜っておりまことに感謝申し上げます。

五月二十一日に令和四年度同窓会理事・代議員会を開催いたしました。会の冒

頭、昨年の一月二十日にお亡くなりになった顧問の吉澤政弘様を悼み、出席者で黙とうを捧げました。長年にわたり同窓会の発展にお力添えいただいたことに感謝いたしました。

理事・代議員会では、令和三年度事業・決算報告、令和四年度事業計画・予算案が承認され、正式に事業がスタートしました。

また、昨年度元下伊那農業高等学校長の遠山善治先生を中心に編集委員の皆様のご尽力により「創立百周年記念誌」が南信州新聞社様のご支援により発刊することができました。遠山先生には、多方面に足を運び貴重な資料を収集するとともに、学校の百周年記念講演で学校の歩みを生徒に伝えていただくなど百周年

令和三年度事業・決算報告、令和四年度事業計画・予算案が承認され、正式に事業がスタートしました。

記念誌編纂に大変ご尽力いただきました。総会終了後、これまでの功績を讃え森山同窓会長より感謝状を贈呈いたしました。



あります。

現在も記念誌の購入を受け付けております。充実した誌面で百周年の歴史を振り返る貴重な資料となっておりますので、お問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

話等で会員の移動に関する情報提供を受け付けています。個人情報には配慮いたしますので、ご協力をお願いいたします。

ウイズコロナと言われる中、理事・代議員会、支会

今年度、親善ゴルフ大会が一年ぶりに高森カントリークラブで開催され、多くの会員が参加されました。参加された皆様方から学校へご寄付をいただき感謝申し上げます。また、稲穂会のマレットゴルフ大会も滞りなく行われ会員の親睦が少しづつ戻ってきてつ

総会も実施されるようになりました。まだ、油断できない面もありますので、会員の皆様方には健康に気を付けてご活躍されることを、ご祈念申し上げます。

今後とも母校の発展のため、より一層のご理解・ご協力を賜りたくよろしくお願ひします。

令和4年度 会員の異動

同窓会員

令和四年三月卒業により

正会員になった人

令和四年四月入学により

準会員になった人

正会員数

旧制

内
男子

女子

一四五名

一五二名

三三一名

四八九名

八三名

二九六名

五三六名

今和四年
春秋乃叙勳受章



叙勲に感謝

小池 正充 (高13回卒)

私は令和四年春の叙勲に際し図らずも旭日双光章を受章する栄に属し身に余る光栄に大変感謝と感激しております。現在コロナ禍の中で皇居での拝謁いただくところ、それが叶わず残念でしたが、後日長野県知事より勲記勲章の伝達をいただき感謝を新たにしたところです。この度の受章は地方自治で平谷村長を長年務めた結果を認めていただいたことと思っております。

期十六年村民より強い要請、応援を得て村長職に就くことになりました。議員、村職員、住民に支えられ業務に励んでまいりました。就任前には七割の村民が合併を望んだが相手が見つからず、村は自立の道を進みながら「小さい村なりに自治を持ち、住民の声を聴く自治に専念しよう」と考え村政の運営に当たってきました。財政の健全化、教育環境の充実化に注力、借金の割合低減化、公共事業の見直しを重ね、比率の

私は山村農家に生まれ、後継者として下伊那農業高校に進学しました。昭和三十六年三月の高校卒業と同時に、平谷村の生活が始まりました。高度経済成長の前で就業の場も少なく、村の農業団体に働きながら農林業をしました。その後、経済の上昇に伴い村内にゴルフ場が建設され、同時にゴルフ場に転職し定年まで働きました。平谷村村

改善が進む中、県下最上の人口減を遅らせるよう子育て世帯が安心できるようにと平谷中学校を隣の阿智村中学校と統合してもらい高校生までの通学費、医療費、給食費などの補助金を充実拡充等の環境を作り出した。地域の発展を目指し、リニアの開通等を生かし若者が希望の持てる地域づくりのため微力ですが任を行っていくつもりです。

運動班の活躍

運動部（インターハイに出場して）

インターハイ出場

山岳班（女子） アグリサービス科三年 平田 紗花

初めてのことはかりでド
キドキしながら入った会場
は、想像していた以上に大
勢の人の気迫で満ちており
改めてインターハイという
大きな舞台に上がったんだ
なと実感しました。



緊張の中、開会式が終わり、筆記の課題テストが行われました。山岳班に所属した当初は班活動で勉強するなんて考えもしなかったのに、テストがあると知った時は驚きました。

そして、一番印象深い山行きが大会三日目に竜王山コースです。このコースは長時間のチーム行動で夕



しかし、気象や救急法など勉強する内容は山行きでとても大切な知識で、尚且つ普段の生活でも役立つことばかりでした。課題テスト対策で勉強しましたが、学べてよかったと思います

チームに追い抜かれていき



ました。気持ちも焦り体力も減っていました。いつも以上に減っていたのは、内心制限タイム以内には歩くのは厳しいかなと思っていました。ですがこの時に心強いのは同じチームの仲間で、お互いに励まし合っている、何とか制限タイム内で歩くことができました。インターハイ出場は、まちが

いなくいままでの人生で一番大きな出来事です。順位としてはいい結果は残せませんでした。悔いはありません。このチームで歩き抜くことができてよかった。

山のインターハイ！

山岳班(女子) アグリサービス科三年 清信 ひなた

二〇二二年の八月上旬に七泊八日の日程で香川県で行われた山岳のインターハイに行ってきました。その一日が非日常で心に刻み込まれている出来事が沢山ありますが、その中でも特に心に残っていることがあります。それはチームの絆がより深まったことです。

私たち山岳班の女子はたったの四人で、普段の山登りから宿泊登山、そして県大会とお互いに絆を深めてきました。しかしインターハイは四人にとって人生初めての出来事で、インターハイに向けて班活動のメニューや時間も増やしました。具体的には登る山の地図や資料を読みこみ、理解を深めていたり、筆記の課題テストで高得点を取るために問題を繰り返し解いたりしました。また、テント張りの練習も時間を計って速度や正確さを究めていきました。

さらに、上位を目指すためには下見登山は必須です。そこで大会の前にも一

す。お互い声を掛け合って励ましあったりできました。改めてこの四人でインターハイに行けてよかったと思います。



度香川へ行き、土日の二日間登山を三つ登るなどハードな日程を組みました。こうした準備を重ねていく中で、後輩との距離も今までよりもさらに近くなり、三年間一緒に頑張った仲間とも苦楽を乗り越え、より一層絆を深めることができました。

迎えた本番ではチームの中で一番体力のない私の荷物の一部をみんなが分けて持ったり、疲れている仲間がいたら声を掛け合ったり励ましていました。改めてこの四人でインターハイに行けてよかったと思いました。

インターハイを終えて

ボクシング部 アグリサービス科三年 原 真陽

私は小学校に入る前からボクシングをやっていました。一度辞めましたが、高校生になり、再びボクシングを始めインターハイを目指すようになりました。昨年度、県代表と北信越とインターハイに出場しましたが、実戦経験が少なくてとても悔しい思いをしました。その思いを胸に一年間しっかりと練習を行い今年度も県代表として北信越・インターハイに出場することができました。



今年度は長野県代表の主将として、初参加のみんなに声をかけながら、全員が

悔いの残らない試合になるよう心掛けました。また体重もギリギリのラインになるよう、厳しい食事制限もしました。北信越大会では初のダウンも取れ成長を感じ、自信を持って全国大会へ向かいました。そして迎えたインターハイ。たくさんの人に応援されながら、大会の会場に行きました。昨年はワクワクしていましたが、今年は最後ということもあり、高知についてからは緊張しすぎて、練習時からあまり良いパフォーマンスができませんでした。試合前は緊張で言葉も発せないほどでした。試合も人生で一番緊張し、自分の力を発揮することができず、手を出すことが全然できませんでした。試合は負けしまいました。高校人生二度もインターハイに出場し、とても貴重な体験をすることができました。楽しさも悔しさも今後の人生に活かしていきたいです。

運動部(北信越大会に出場して) 北信越で得たもの

剣道(女子) 園芸クリエイト科二年 朝山 愛夢

私は今回、県総合大会個人戦ベスト八となり長野県の代表として北信越に出

場させていたきました。県大会が終わり、北信越までの練習時間が限られてい



陸上(女子百m走) 北信越大会に出場して

陸上 園芸クリエイト科二年 三嶋 渚沙

私は県新人戦に出場し、女子百m走で四位に入賞して北信越大会へ出場権を獲得しました。中学生から通して一回も出場したことはなく初めてで、うれしさの一方、不安もありました。

大会は富山県の総合競技場で行われました。現地について会場の大きさに

てきた全てを出し切ると決めた試合に臨みました。その結果、見事一回戦目を突破することができ、とても嬉しかったです。そこで気持ちを浮つかせることなく、二回戦目に臨みました。一本取られて一本取り返すという形で延長戦に入りました。一本とれば勝ち、取られれば負けという状況で私の弱さがでてしまい二回戦敗退という結果になりました。しかし、今回の大会で私は、自分の力が上位の大会でも通用するということが、寸前で負けてしまうという悔しさを学ぶことができました。この結果で終わらず、今後も支えてくれてる先生方、保護者の方々や先輩方、OBの方々、そして剣道班のみんなに感謝をし、日々の稽古に励み、結果で恩を返せるように頑張っていきたいと思います。

がとても長く感じました。結果は組で三着、全体で十一位、決勝に進むことはできませんでした。自分の思い通りの走りができず、記録もあまりよくありませんでした。結果は残念だったけれど、大きな舞台で走ることができてとても良い経験になったと思います。また今回の大会で自分の走りの課題を見つけることが

できたので今後の練習に生かしていきたいです。次の大きな大会は南信総体です。北信越総体、インターハイまで行けるように、課題である部分を直し、冬季練習を頑張つていつも教えてくれるコーチや支えてくれている家族、顧問の先生方に恩返しができるようにしたいと思っています。

学芸班 専門研究班 の活躍

農業クラブ全国大会

農業鑑定競技に出場して

アグリサイバース科二年 宮本 結花

私は福井県で開催された全国農業クラブ大会北陸大会農業鑑定生活の部に出場しました。出場の話をもちう

たときはとても不安で出場しように悩みましたが、先生に相談すると誰でも行けるわけではないし、今まで参加した先輩たちはよい経験になったと言っていたという事を教えていたとき、出場することを決意しました。

しかし出題範囲は学校での農業鑑定よりも何倍もあり、学校のように資料はないのでまずは資料作りから始めなければなりません。途中で、何度もやめたいと思いましたが、たくさんの先生方

大会当日は控室で自分の順番が来るギリギリまで勉強をしていました。会場のプザーが控室にまで聞こえてくるので緊張しましたが本番は思っていたよりも落ち着いてできたと思います。次の日、先生に入賞したと聞いたときはまさか自分が入賞できると思っていなかったのが驚きでしたが、とても嬉しかったです。

最初は出場するか悩んでいましたが、先輩方はみんな優しくしてくれ三日間とても

楽しく過ごすことができました。勉強はとても大変でしたが先生が言っていた通りよい経験になったと思います。優

農業鑑定競技会に出場して

食品化学科三年 伊藤 静流

私は今年、福井県で行われた第七十三回日本学校農業クラブ北陸大会農業鑑定競技会、食品の部に出場しました。私には、一年生の

絶対賞状を持って帰りたいと覚悟を決めて、勉強に励みました。三年生の夏休みはすべて勉強に費やしました。

私には、一年生のころから決めていた目標がありました。それは、卒業までに農業鑑定の全国大会に行き、入賞することでした。二年生の時、全国大会

たくさん勉強をして、いよいよ大会当日になりました。競技が始まると二十秒がとても短く感じました。きちんと勉強していたはずなのに緊張で頭が真っ白になつて解けなかつた問題もありました。競技が終わつた後あまりにも手ごたえがなく、正直、優秀賞は取れないなと思いました。ですが次の日の朝、優秀賞を取れたと知り、とても驚いたと同時に安心しました。周りの皆さんの支えなしでは取れなかつた優秀賞。支えてくれた方への感謝を忘れずにこの経験を一生大切にしていきたいと思っています。

出場が決まったら一安心したものの、先生から出題範囲を渡されたときはあまりの広さに心が折れそうになりました。せつかく出場できることになったからには

たくさん勉強をして、いよいよ大会当日になりました。競技が始まると二十秒がとても短く感じました。きちんと勉強していたはずなのに緊張で頭が真っ白になつて解けなかつた問題もありました。競技が終わつた後あまりにも手ごたえがなく、正直、優秀賞は取れないなと思いました。ですが次の日の朝、優秀賞を取れたと知り、とても驚いたと同時に安心しました。周りの皆さんの支えなしでは取れなかつた優秀賞。支えてくれた方への感謝を忘れずにこの経験を一生大切にしていきたいと思っています。

牛と私たちの物語

農業機械科三年 清 強志

「信州の牛を全国の人にも知ってもらいたい！」

とができ、農業に携わる高校生としてとても誇りに思いました。また、私はこの大会で自分たちが育ててきた牛を全国に知ってもらえる良いチャンスなのではな

私はこの想いを胸に畜産部の活動を行ってきました。そんな中、今回全国和牛能力共進会に出場するこ

とができ、農業に携わる高校生としてとても誇りに思いました。また、私はこの大会で自分たちが育ててきた牛を全国に知ってもらえる良いチャンスなのではな

いかと思いました。私は県の予選を突破するために、日々の活動に力を入れてきました。まずは毎日欠かさず、散歩やブラシがけ、シャンプーを使って毛並みを整えるなど、牛と触れあう中で意思疎通をしてきました。その甲斐もあつて私たちは予選会を突破しました。その時に私は「この牛となら全国に行ける！」と自信が湧いてきました。全国の舞台は鹿児島県。各県の牛たちも、高いレベルで大会に臨んでくると思いました。そのため、日々の活動により力をいれました。私たちの牛は体高（人間でいえば身長）が審査基準ギリギリで、少し不

安がありました。ですが、私たちの牛のコンディションは完璧だったので、あとは自信を持って大会に臨むだけでした。

大会当日、全国のレベルの違いに驚きました。どの県の牛も大きく、私たちの牛にないものをもっていました。ですが、私はあまり緊張せずに本番の会場に立つことが出来、他の牛に負けないように堂々と挑みました。

結果は自分たちの望んだものではなかったのですが、今までやってきたことは無駄にはなっていないと思います。多くの人に応援をしてもらい、このような経験が出来た事を嬉しく思います。

全国産業教育フェア青森県大会に出場して

園芸クリエイト科二年 敦賀 美月

私は六月に行われたフワアアレンジメント県大会では、ベシックススタイルとフリースタイルの二つの作品を作りました。特に力を入れたのは、ベシックススタイルです。今年は、トライアンギュラーという形でした。花の配置が難しかったりオアシスがグリーンで隠せてなかつたりと、何回も失敗をしてきました。ですが本番では、自分の中で一番いい作品になりました。何回も練習した甲斐があり、最優秀賞をいた

だき、全国大会へ出場することができました。

十月に行われた全国大会は、県大会とは違い、決められた花材を使用し、テーマに沿って作品を作りました。



た。今年のテーマは、『縄文の風』でした。本番一ヶ月前に、花材の発表があり、これらの花材をどう活かすかを考えたりしながら練習をたくさんしました。一ヶ月があつという間にたち、本番、会場に入ると、県大会と雰囲気は全く違いました。全国大会は競技人数も多く一般公開もしていたため、とても緊張はしました。しかし、たくさん練習したことを無駄にしないため全力で取り組みました。作品の製作が終わり、他の競技者の作品を見てみると、どの作品もレベルが高くとても驚きました。籠を切って使うなど、私が発想もしていなかった様々なアイデアが作品に使われていて凄かったです。思うような結果を出すことはできませんでしたが、他の競技者の作品やアイデアからこれからもたくさんあのアレンジメントに挑戦していきたいと思いました。

大会に出るにあたって支えてくれた先生や仲間、家族の方々に感謝しています。ありがとうございます。



全国産業フェア青森大会に参加して

園芸クリエイト科三年 中田 優真

私は今年、青森県で行われた全国産業教育フェアに出場しました。去年はリモートでの開催でしたが、今年は実際に足を運んで参加することができました。



今年は『縄文の風』がテーマでしたが、縄文になじみがなかったことや支給される花材について細かく発表されなかったことで色をイメージすることができず、曖昧なままでのスタートでした。時間をかけてデザインを考え

デザインをまとめることができませんでした。練習では苦勞することや辛いこともありましたが、みんなで意見を出し合って試行錯誤している時間はとても充実していて楽しかったです。

良い成績を残すことができず申し訳ない。決して手を抜いたわけではないのでこの結果が自分の実力だったと思います。今回の大会で私が一番大事にしていたことは、あの場に立つことができたことです。これから先、絶対に体験できないような貴重なものでした。この体験ができたことは、自分の努力が実を結んだからでもあります。

農業クラブ北信越大会に出場して

園芸クリエイト科二年 久下 莉奈

一年生のころから大会準備を手伝い実際に参加はしていませんでしたが私にとって初めての県大会で最優秀賞を受賞し、初めて農業クラブ北信越ブロック大会に出場することができ、嬉しい気持ちの反面本当に大丈夫だろうかと不安いっぱいでした。夏休みに入るとほぼ毎日パソコンと向き合い活動記録簿づくり、パワーポイントも同時進行で作成するという精神的にも肉体的にも全員疲労が見られる毎日でした。けれど、



信州黄金シャモの認知度や飼育舎を増やすために私たちが一年間行ってきたことや、過去の先輩たちが取り組んできたことを多くの人に知ってもらいたいと思い本番の日まで準備や練習を頑張ってきました。初日はリハサルや直し、練習をひたすら行っていました。二日目の朝早くに海に行き今日の目標を叫んだり、かけっこをして朝からいい景色が見られ最高の気分で大大会に臨みました。大会が始まり他校の生徒が発表する

新たな挑戦 国際教育

アグリサービス科三年 田見 雅也

のを聞いているとどこも面白く興味深さがそそられるものばかりでした。いざとなると緊張して手が震えてきました。いつも通りと言いつつも通りと違い聞かせ気持ち落ち着かせている間に発表が始まり集中していたせいかすぐに終わってしまいい体感では五分もたつていなように感じました。結果として全国大会には行けませんでした。すべてを出し切ることができたので後悔はないです。貴重な体験ができてとてもよい二日間でした。

下伊那農業高校に入學し、初めての収穫祭で英語弁論大会というものを知り、初めて発表を聴きました。長野県で最優秀賞を受賞した発表を聴き、約五分間長い英文を何も見ずに話す姿に驚きました。また下農がここ数年間、県大会を優勝し続けている事も知りました。翌年の収穫祭でも長野県で最優秀賞を受賞した発表を聴きました。私は当時、「来年は誰がやるのだろう。大変そうだな。」としか思っていませんでした。

三年生になり四月中旬、英語科の教科担任でインターアクトクラブの顧問でもある先生に声をかけられ、「英語弁論大会に出てみないか。」と話をもちかけられました。私は自分で大丈夫なのかと不安もありましたが、将来の夢が英語教師であり英語も好きだったため挑戦することを決め



